

子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響：

MRI（拡散強調画像、cine MRI）を用いた検討

今回、京都府立医科大学にて子宮筋層を対象とした MRI 所見に関する研究を実施いたします。そのため、京都府立医科大学附属病院で骨盤部 MRI 検査を受けられた女性患者さまの診療録を調査させて頂きたいと考えています。

本研究の実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

子宮内膜症の患者さまは、子宮自体にも変化が生じていることが報告されています。本研究では、MRI の最新の撮影、解析方法を用いて、ミクロレベルでの血流、弾力性、動きの評価を行います。この手法は造影剤や特別な処置を必要とせず、子宮内膜症による不妊や疼痛といった症状の原因となりうる子宮の変化を、新たな側面から評価ができる可能性があります。本研究の目的は、これらの最新の撮影、解析方法の有用性について検討することです。

研究の方法

対象となる方について

京都府立医科大学附属病院産婦人科で 2017年4月1日から2024年3月31日の間に当院で MRI 検査を受けられた患者さまが対象となります。

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2025年3月31日まで

方法

当院放射線科で子宮内膜症、子宮筋腫及び卵巣腫瘍のために MRI 検査を受けられた方について、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。MRI の画像所見や解析結果と、手術病理診断との対比を行います。

研究に用いる情報について

病歴、月経周期、妊娠出産歴、症状、MRI データ、手術所見、病理学的所見、等

個人情報の取り扱いについて

患者さまのカルテ情報、MRI 解析結果を本研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さまを直ちに特定できる情報は削除し、新たに研究用番号を割付けてデータを取り扱います。患者さんと研究用番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さまが特定できる情報を使用することはありません。

この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 放射線医学教室 高畑 暁子）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さまの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則として、この研究のために使用し結果を発表した後、京都府立医科大学放射線科医局において研究責任者（助教・高畑 暁子）の下、10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際には、あらためてその研究計画について医学倫理審査委員会による審査を受け、承認を得ます。

研究組織

研究責任者 京都府立医科大学 放射線医学教室 助教 高畑 暁子
研究統括者 京都府立医科大学 放射線医学教室 教授 山田 恵

お問い合わせ先

患者さまのご希望があれば、参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

尚、情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年3月31日までに下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 放射線医学教室
助教・高畑 暁子（たかはた あきこ） 電話：075-251-5620